

これまでも皆様にお伝えしてきましたが、今年の10月15日に「メッセの戦略的な展開による文化のビジネス化」をテーマとして、金沢市にて世界創造都市フォーラムが開催されました。

基調講演では、モントリオール国際インテリアデザインショー代表のジネット・ガドゥリー氏を迎え、「国際インテリアデザインショー（SIDIM）の成果と今後の展望」についてお話をいただきました。

SIDIMは、北米におけるデザイン分野のメッセの中で、最も有名なものの一つであり、1989年から毎年開催され、今年で第24回を迎えています。3日間の開催時期に、2万人以上のバイヤーやデザインのプロ、ビジネスマン、消費者が来場しているとのことでした。

ガドゥリー氏からは、SIDIMにおける展示やテーマスペース、国際的なジャーナリズムに取り上げられることの重要性、またSIDIMの今後の展望などについてお話いただきました。

シンポジウムでは、「メッセの戦略的な展開による文化のビジネス化」をテーマに、モントリオール市に加え、上海市からパン・ジン上海創造産業センター副所長、ソウル市からチェ・キョンラン2010年ソウルデザインフェアディレクター、金沢市からジュエリー職人であり、おしゃれメッセ2008ディレクターである伊東史子氏をあわせ、秋元雄史金沢21世紀美術館長をコーディネーターとして討論が行われました。

各市の取り組み、具体的には、2005年に、中国で初めて創造産業発展戦略が策定され、同年から実施されている上海市の「上海国際創造産業ウィーク」、2008年から始まり、今年は170万人の入場者があった「ソウルデザインフェア」、金沢市の2008年、2009年の「おしゃれメッセ」と「クラフトツーリズム」について紹介されました。

その後、「デザインや工芸、メッセの国際化」、「メッセの役割」、「メッセの文化のビジネス化への貢献、経済効果」などについて話し合わせ、討議の集約の結果として、「金沢アジェンダ」が取りまとめられました。

皆様のご理解とご協力のもとに成功した今回のフォーラムにつきまして、概要を、以下のHPに掲載しましたので、皆様、是非、ご覧下さい。

#### 金沢市HPアドレス

今後とも、創造都市・金沢は各種の実践的な取り組みを推進するとともに、ユネスコ創造都市ネットワーク活動の発展につなげていきたいと思っています。

それでは、皆様ますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進担当より。